

# 【高校生授業】 浜松湖北高生 地域企業を取材！

## 連理の木 周知方法は

浜松湖北高生 ワークショップ参加

## 縁結び SNS発信など提案

浜松市北区引佐町の浜松湖北高商業科の3年生6人が11日、管工事やレストラン、保育



中村社長（右）から連理の木について説明を受ける生徒  
＝浜松市北区都田町

などを手がける愛管（同区都田町）を訪れ、同社敷地内にある縁結びのパワースポット

「連理の木」の周知方法を考えるワークショップに取り組んだ。生徒が取材を通じて地元企業の魅力をブログなどで発信する授業の一環で実施した。

「連理の木」は高さ約15メートル、周辺はコミュニケーションエリア「連理の木の下で」として整備している。生徒は中村将義社長から説明を受けた後、「交流サイト（SNS）で発信する」「結婚式を挙げてもらう」などと提案した。中村社長は「地元の生徒らと協力して、浜松を盛り上げていきたい」と話した。ワークショップは、

エネジンの社員が講師をしている授業の一貫で、浜松湖北高校の生徒が地元の企業を取材しました。

高校生が企業と直接話をする場をもつことで、仕事について考えるきっかけになると同時に、地元の企業を知ってもらい、魅力を発信することで地域活性化に繋げることが出来る取り組みです。

随時更新される高校生の取材記事を載せたブログサイト『エネフィブログ』をぜひご覧ください！

令和5年(2023年)1月13日(金)

静岡新聞

